

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	健康で互いに支え合うまちづくり	分野(章)番号	3
政策名(項)	地域福祉の推進	政策(項)番号	Ⅲ
施策名(目)	高齢者福祉の充実	施策(目)番号	③
担当課	保健福祉課	担当課長	谷津 俊幸

## 1. 施策の基本方針

施策目的	・高齢者が住み慣れた地域で元気で豊かな生活を送れるまちを目的とする。
------	------------------------------------

## 2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢になっても安心して地域の中で暮らしたい。</li> <li>・老人クラブの数や会員数が減ってきている。</li> <li>・高齢者が働きたくても働く場が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進み、今後も加速していくことが予想されるため、国では、社会保障制度改革が進められている。</li> <li>・一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯も増えてきていることから、高齢者の支援体制作りが求められている。</li> </ul>

指標の内容		達成度(上段:目標 下段:実績)						備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	
主要 元気高齢者の割合	目標			82%	82%	82%		(高齢者人口-介護認定者数)÷高齢者人口
	実績	80.1%	79.5%	79%			82%	
	達成率			96%				
参考① 老人クラブ会員数	目標			800人	800人	800人		800人
	実績	819人	785人	725人				
	達成率			91%				
参考② シルバー人材センター就業延人数	目標			9,500人	9,000人	9,000人		9,000人
	実績	10,938人	9,166人	8,633人				
	達成率			91%				
参考③ 総合相談対応件数	目標			1,000件	1,100件	1,100件		1,100件
	実績	887件	913件	1,064件				
	達成率			106%				
参考④ 高齢者生産活動会員数	目標			110人	110人	120人		120人
	実績	96人	91人	94人				
	達成率			85%				

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		209,048千円	257,740千円	117,636千円	99,812千円	83,493千円	83,493千円
財源内訳	国庫支出金	42千円	53千円	245千円	48千円	277千円	277千円
	県支出金	828千円	53,516千円	860千円	4,456千円	3,421千円	821千円
	地方債	96,200千円	119,100千円	7,100千円	7,100千円	千円	千円
	(うち過疎債)	96,200千円	119,100千円	7,100千円	7,100千円	千円	千円
	その他特定財源	7,881千円	8,410千円	8,289千円	6,555千円	7,029千円	7,029千円
一般財源		104,097千円	76,661千円	101,142千円	81,653千円	72,766千円	75,366千円
従事者数	正職員	2.08人/年	2.32人/年	2.47人/年	2.47人/年	2.57人/年	2.37人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	14,004千円	15,821千円	16,349千円	16,349千円	17,449千円	16,091千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		1,804千円	2,170千円	2,245千円	2,245千円	2,337千円	2,155千円
トータルコスト		224,856千円	275,731千円	136,230千円	118,406千円	103,279千円	101,739千円

#### 4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]	・総合相談件数は増えており、他の指標も目標をほぼ達成しているため、全体としては達成度はやや高い。	
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]	・老人クラブやシルバー人材センター、高齢者生産センターにおける活動などの活動内容を高齢者世代だけでなく、これから高齢者になる団塊の世代に周知PRしていくことで、会員数や就業人数の増加の可能性はある。	
	貢献度	a	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]	・元気高齢者の割合が増えることにより、地域活動の活性化が図られ高齢者の社会参加や生きがいづくりにつながることから、貢献度は高い。		

#### 5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が安心して生活できるよう、必要な福祉サービスの充実と各種相談の充実を図る。</li> <li>・老人クラブやシルバー人材センターの活動をとおして、生きがいや社会参加の高揚を図る必要がある。</li> <li>・高齢者の人権擁護と、虐待防止の支援体制の確保が必要である。</li> <li>・高齢者の経験や技術を生かした生産活動や就労の場を確保する対策を拡充する必要がある。</li> </ul>
----	--

#### 6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・高齢者の方々にとっての重要度や必要度を確認しながら、高齢者福祉サービスを継続していく。
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。